

海外渡航の前に 麻しん（はしか）の予防接種も お忘れなく！

麻しんにかからないためには、
予防接種が最も効果的です。

十分な免疫をつけるには、
追加接種をお勧めします。

2015年、日本はWHO（世界保健機関）から麻しん排除国として認定されました。しかし、麻しんは今でも東南アジア、アフリカなどで流行しており、輸入感染症として、国内で散発しています。2017年4月に金沢市内でも麻しんの発生がありました。

最近の麻しん患者報告数上位10か国（2016年11月～2017年4月）インド、コンゴ民主共和国、ナイジェリア、中国、パキスタン、インドネシア、イタリア、バングラディッシュ、ルーマニア、ガボン共和国（WHO発表資料）

特に20歳代後半～40歳代前半（昭和48年4月1日～平成2年4月1日生まれ）の方は、過去に1回しか麻しんの定期予防接種の機会がなく、免疫が不十分であると考えられます。十分な免疫をつけるために追加接種をお勧めします。

渡航先、渡航期間により、麻しんの他にも必要な予防接種があります。

厚生労働省検疫所FORTH 海外で健康に過ごすために
<http://www.forth.go.jp/useful/vaccination.html>

あなたは麻疹の免疫がありますか？

渡航前に
追加接種！

※ご自身の母子健康手帳で予防接種歴をご確認ください。

1. 麻疹（麻疹ワクチン、MR ワクチン、MMR ワクチンのいずれか）の予防接種を

- 受けたことがない、またはわからない
 - 1回受けた
 - 2回受けた（記録がある）
- ⇒ 予防接種をしてから出発！！
- ⇒ 免疫あり、出発できます◎

2. 麻疹にかかったことが

- よくわからない
 - ある
- ⇒ 予防接種をしてから出発！！
- ⇒ 免疫あり、出発できます◎

麻疹の免疫のある方が追加接種をしても、問題はありません。

予防接種を希望される方へ ～医療機関に御相談ください～

- ・麻疹風しん混合（MR）ワクチンが一般的です。予防接種の効果が出るまでに2週間程度かかります。
- ・任意の予防接種は有料です。費用は医療機関にお尋ねください。
- ・妊娠の可能性のある方や妊娠中の方は、麻疹の予防接種を受けてはいけません。また、予防接種を受けた方は約2か月間の避妊が必要です。

もしも麻疹にかかったら、どうなる？

●はじめは、「かぜ」のような症状・・・でも重症化脳炎や死亡も

感染して約10日後に発熱、咳、鼻水といった風邪症状が現れ、その後39℃以上の高熱と発疹が出ます。肺炎・中耳炎を合併しやすく、1,000人に1人の割合で脳炎を発症するといわれています。死亡する割合も、先進国であっても1,000人に1人といわれています。

家族も心配

●多くの人への感染

症状が出る前日から感染力があるため、気づかいうちに多くの人に感染させていることがあります。空気感染し、強い感染力（免疫をもっていない人が感染するとほぼ100%発症）があります。妊婦に感染すると、流産や早産の危険性が高くなります。

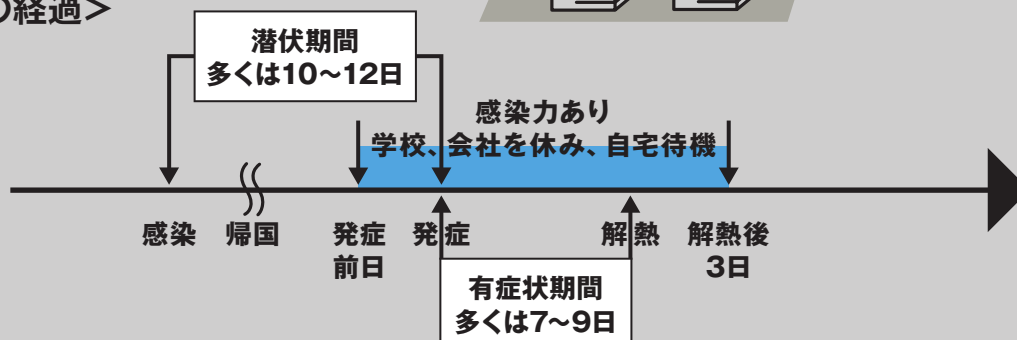
●出勤や外出の自粛

合併症がなければ主な症状は7～9日で回復しますが、解熱後3日を過ぎるまで外出を控える必要があります。

マスクや手洗いでだけでは
予防できないのね

何日も休んだから
仕事が大変！

<麻疹の経過>



このチラシについてのお問合せは

金沢市保健所 地域保健課 TEL 076-234-5102 FAX 076-234-5104